参加型の防災活動 ジグソー防災マップづくりゲーム

独立行政法人 防災科学技術研究所 防災システム研究センター





様々な地域の防災活動では。。。

- 平常時の防災活動は、成果が見えにくい
- 継続的に活動に取り組むのは容易ではない
- 防災活動の担い手が高齢化している
- **若手の巻き込みも容易ではない**

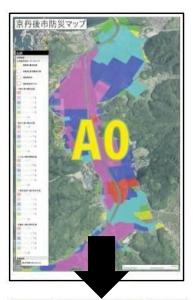


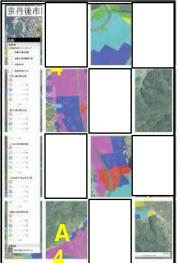






●ゲーム感覚で地域のハザードマップを組み合わせながら地域の災害^リ スクの理解









●手順

①eコミマップより地域のマップに様々なハザードマップなどを重ねて分割印刷





- ●手順
- **②格子状の下敷きシートを用意し、分割印刷したマップをプリセット**



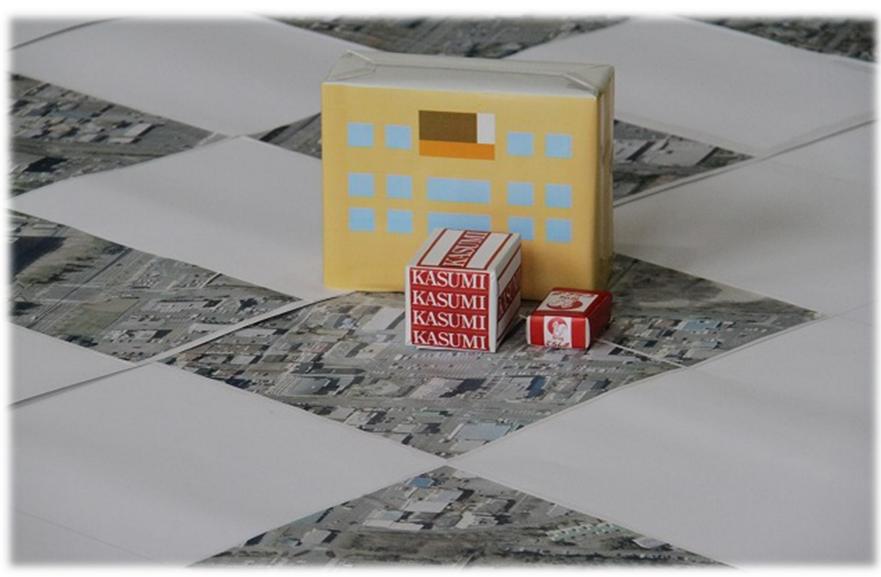


- ●手順
- ③ばら撒かれてあるマップを持って、下敷きシートの上を探索して組み合わせる。





- ●手順
- ④地元の企業にゲームの景品の提供をお願いし広告も(例:お菓子袋など)





- ●手順
- **⑤住民や親子同士で地域防災について話し合い、避難施設やルートなどを記入**



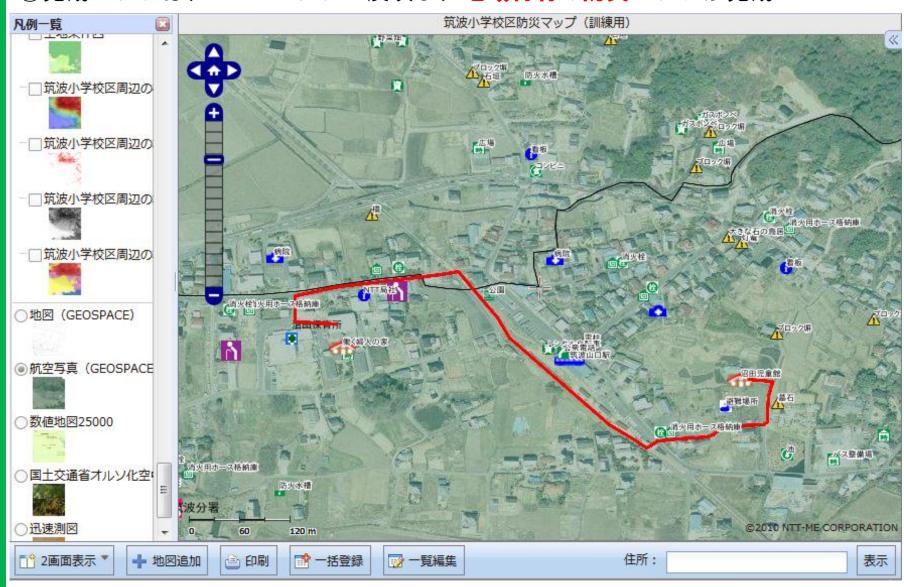
IED BOSAI-DRIP

ジグソー防災マップづくりゲーム



●手順

⑥完成マップは、eコミマップに反映し、地域特有の防災マップが完成





●期待効果

- ■地域のマップを組み合わせる段階で、より細かな地域の空間的な状況 が把握できる。
- ■防災マップを重ね合わせたマップの活用により、自宅周辺、自宅と避 難所の間の施設立地や距離など、災害に対する地域の空間的リスクが学 習できる。
- ■親子で参加するため、家族同士でのリスクコミュニケーションのきっ かけとなる。
- ■防災活動や防災教育において、ゲーム感覚でアプローチすることがで き、子供のための防災教材として活用が期待できる。
- ■各官公署や自治体などが発行しているハザードマップや防災マップを 活用することにより、さまざまなテーマでの参加型防災マップづくりが 可能となる。